

市民参加型市政の推進について

1 経緯

本市では、今までも市民アンケート、附属機関、パブリックコメントなど、様々な場面において市民の御意見をお聴きしながら市政運営を進めてきました。

また、令和2年11月に策定した新しい行財政改革大綱においては、「改革の視点」として、以下を常に意識して行財政改革に取り組むこととしています。

(2) 公正の確保及び透明性の向上に努め、市民に開かれた行政

市民へ様々なツールを活用して、公正を確保しつつ市政情報を提供し、透明性の向上に努めます。また、市民の意見・意向を的確に反映できるよう各種制度を適切に運用し、市民に開かれた行政を推進します。

一方で、市政への市民参加を促進するための各種制度等を包括する庁内の統一的なルールや考え方が無いことが課題であると認識していました。

また、行財政改革大綱策定検討時の行財政調査会委員からも、「市の未来のことを市民も交えて考えていく必要がある。」、「職員が、市民目線で理解しようとする姿勢や不安な気持ちに寄り添う姿勢を忘れないように心がけることが必要である。」といった御意見をいただいております。

そのため、以前からの市の課題であった「公正の確保及び透明性の向上に努め、市民に開かれた行政」のさらなる促進のため、全庁体制で「市民参加型市政」を推進することとなりました。

2 市民参加型市政とは

「検討及び構想段階から市民に向けて積極的に情報を発信した上で、幅広く市民参加の機会を提供し、多様な意見を聴き取りながら、広く市民の英知を結集して、計画の策定や事業の推進を図っていく制度」を「市民参加型市政」と定義し、市民参加型市政を推進するに当たっての基本方針である「岡崎市市民参加型市政の推進に関する指針」（以下「指針」という。）の策定を現在進めています。

3 制度のポイント

市民参加型市政の制度のポイントは次の3つです。

(1) 市が抱える課題や悩みの公開

計画の策定や事業の推進は、市が抱える課題や悩みを解決するための道筋や手段

に他なりませんので、計画や事業がスタートする前から、各担当部署の課題をシートにまとめて公表し、市民とのさらなる情報共有を推進します。

(2) 市民参加プロセス計画書の作成及び公表

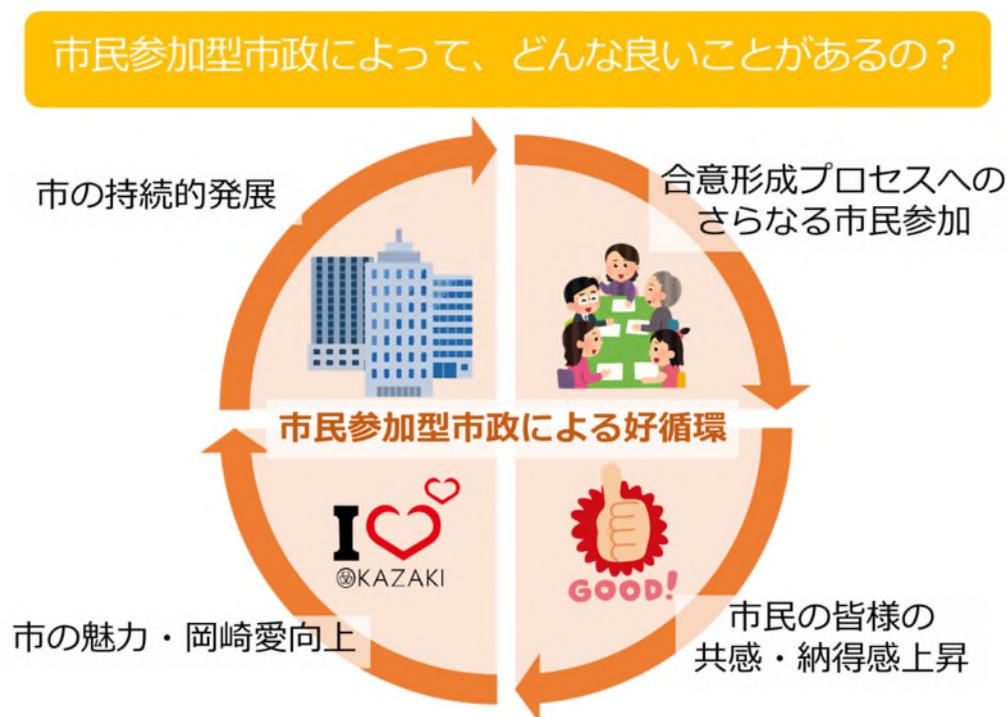
計画の策定や事業を推進する最初の段階で、市民参加の実施時期、その目的、対象となる市民、市民参加手法の選択などを検討する時間を設け、それを市民参加プロセス計画書にまとめて公表し、市民とのさらなる情報共有を推進します。

(3) 積極的な情報発信

市民参加に関する情報を集約した「市民参加型市政ポータルサイト」を立ち上げ、積極的な情報発信を行います。また、情報発信に当たってはSNSなども活用します。

以上のポイントを踏まえて市民参加型市政を推進することにより、計画策定や事業推進の合意形成プロセスにおける市民参加を増やす→市政に対する市民の共感・納得感が高まる→共感・納得感の高い市政運営により市の魅力や市民の岡崎愛が高まる→市内外の皆様から「選ばれる街」として持続的に発展する、といった好循環を生み出していきたいと考えています。

※ 市民参加型市政の詳細については、添付した「岡崎市市民参加型市政の推進に関する指針 説明書」を御覧ください。



4 スケジュール

時期（令和3年）	内 容
4月～7月	庁内推進体制を構築し、制度及び指針（素案）について検討
8月16日	市長を本部長とする行財政改革推進本部会議で指針（素案）を審議
10月7日～11月8日	指針（素案）のパブリックコメントを実施
11月17日	岡崎市行財政調査会にて制度及び指針に関する意見聴取
12月上旬	行財政改革推進本部会議で指針（最終案）を審議
12月下旬	指針の公表（議会報告・報道発表・HP等で公開）

5 パブリックコメント結果

令和3年10月7日から11月8日まで、指針（素案）のパブリックコメントを実施した結果は以下のとおりです。

提出意見数	21人・69件
意見概要	<p>市民参加型市政の基本理念やコンセプトについて、また指針に基づき市の計画策定や事業推進の合意形成プロセスにおいて積極的に市民参加の機会を設けること自体については、多くの賛同を得られた。</p> <p>一方で、制度を運用するに当たって、以下を懸念する意見が寄せられた。</p> <ul style="list-style-type: none">・そもそも市政に関心が無い市民が多い中で、実効性のある制度となるのか。・市が発信する情報（文書やHPなど）が分かりにくいし、探しにくい。利用者目線になっていないのではないかな。・高齢者層や特定の主張を持つ市民の意見に偏ってしまわないか。若い世代の市民が参加しやすい仕組みが必要ではないかな。・様々な意見を聴くことによって、かえって市政運営が混乱してしまわないか。・市職員の負担が増加しないか。

意見への対応	<p>市民参加型市政を推進すること自体には多くの賛同を得られたため、基本的には現在の内容で進めていきたい。</p> <p>いただいた御意見を踏まえて、制度の運用については以下の取組を進めたい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 市政情報を積極的に発信することで、市民の関心を高めていく。 ・ 情報を発信する際には、見やすさ・分かりやすさを意識して、利用者目線での発信に留意する。 ・ 若い世代の市民を意識して、SNSやデジタルツールを活用する。 ・ 上記を実現するため、職員の意識改革を図る研修を実施する。 ・ 指針に基づき制度を運用するため、職員向けの分かりやすいマニュアルを整備する。
--------	---

6 行財政調査会で意見をお聴きしたい内容

指針（素案）のパブリックコメント結果も踏まえ、市民参加型市政がより良い制度となるよう、また、より多くの市民が市政に興味関心を持ち、市政に参加してみようと思っただけのよう、どのように制度を運用していくべきか、どのように情報を発信していくべきか、委員の皆様の御意見をお聴きしたいと思います。

また、添付した指針説明書の内容や表現等についても、お気づきの点等ございましたら御指摘ください。